

# HELLO SAGA



佐賀県国際交流・協力情報誌

心の国境をなくそう！  
Free your heart of borders!



## 地球市民賞受賞のお知らせ

国際交流基金地球市民賞は、1985年に創設された歴史ある賞です。  
「地域に住む一人ひとりが国際文化交流の担い手となる地球市民であるように」という願いを込められた地球市民賞を、2024年度佐賀県国際交流協会が受賞いたしました。

## 公益財団法人 佐賀県国際交流協会

Saga Prefecture International Relations Association (SPIRA)

さが多文化共生センター Center for Multicultural Society in Saga

佐賀県国際交流プラザ Saga International Plaza

〒840-0826

佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル 1階

Saga Shoko Build. 1F 2-1-12 Shirayama, Saga City

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail:info@spira.or.jp

Consultation Service(相談専用) TEL:0952-22-7830



SPIRAイベントチェック



HELLO SAGA  
バックナンバー

※2021年4月1日より、佐賀県国際交流プラザは、佐賀県国際交流協会が運営管理しています！ご利用をお待ちしております。



おぎ日本語教室



マレーシアを知ろう！



日本語ボランティア養成講座



医療通訳サポーター



日本語教室いまり



多文化共生セミナー  
講師：サヘルローズ氏



SPIRA さが国際フェスタ



体験型外国人防災セミナー



Sagan World Cup 2024



— 今回の受賞を励みに、

今後も「誰一人取り残さない」  
佐賀県を目指し、皆さんとともに  
進んでいきたいと思いますので、  
どうぞよろしくお願いいたします。

# JICA OB・OG通信

経歴：大学卒業後、保健師として保健所や県庁で5年間の実務経験を経て  
JICA青年海外協力隊（2014年度1次隊）へ。



松枝 享子さん  
派遣国：ウズベキスタン共和国  
職種：保健師

## Q1. 派遣先のウズベキスタンってどんな国？

ウズベキスタンは、中央アジアに位置する二重内陸国という特殊な国です。降水量が少なく、夏は最高気温60℃近く、冬は最低気温-30℃近くになる過酷な環境ですが、お米や野菜、果物等も豊富でおいしく、食事やお客をととても大切に文化を持っています。

人口は3,570万人、面積は日本の約1.2倍の44万8,969km<sup>2</sup>となっています（外務省HPより）。

1991年に旧ソ連より独立したまだ比較的新しい国で、公用語はウズベク語ですが、ロシア語も多く使用されています。多くの方がイスラム教を信仰しています。

## Q2. 派遣時の活動内容について教えてください。

私の配属先は、首都から西に約1200km離れたカラカルパクスタン自治共和国の保健局でした。カラカルパクスタンでは現地語である。私が活動していた当時は、ウズベク語やロシア語での健康教育資料はあったのですが、カラカルパク語での資料は少なかったため、カラカルパク語を使って学校等の健康教育で使うリーフレットを主に作成していました。

その他には、他の協力隊員の配属先の学校や施設等で生活習慣病予防やインフルエンザ予防、手洗い、歯磨きのセミナーを開催したり、時には現地の子どもたちに浴衣を着せてあげたり、習字と一緒に楽しんだり、日本を身近に感じてもらえるような日本文化紹介イベントにも参加しました。

## Q3. 派遣中の一歩の思い出は何ですか？

私が活動していたカラカルパクスタンは、周囲を砂漠に覆われており、ウズベキスタンの中でも特に寒暖の差が激しい地域でした。日本であれば、冬でも木々の葉が完全になくなることはありませんが、カラカルパクスタンの冬は、木々の葉が全て枯れ落ちてしまい緑のない世界になります。その厳しい寒さを乗り越えて木々が芽吹き花を咲かせ、春の訪れを感じられる瞬間が大好きでした。ウズベキスタンでは、この春の訪れを国民皆でお祝いするナウルーズというお祭りがあり、私の配属先でも大きな鍋で作ったプロフ（日本でいうピラフのようなもの）や、スマラクといった小麦で作ったジャムのような甘い伝統的な食べ物を皆で食べてお祝いしました。

## Q4. 帰国後のお仕事について教えてください。

私は、現在の所属先に身分を残したまま協力隊に参加することができる現職参加制度を活用させていただいたため、帰国後も元の職場に戻り保健師として保健所や県庁で働いています。帰国後は、主に災害対策や感染症対策等の健康危機管理や保健師の人材育成に携わっています。現在は育児休業中で、毎日子育てに奮闘しています。



## JICAボランティアに関するお問合せ・連絡先

（公財）佐賀県国際交流協会内 JICAデスク佐賀 石川 洸

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055  
E-mail:jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

## 「世界にふれる夜のおちゃ会」～多文化YouTuber発表会～

令和6年11月から月1回のペースで、国籍に関わらず気軽におしゃべりを楽しむ「世界にふれる夜のおちゃ会」を開催しました。令和7年3月7日に行った、最後の会の様子をご紹介します。

### ●「やさしい日本語カード」で相手に伝わる日本語を考える

まず、参加者同士で打ち解けるために、「やさしい日本語カード」を使って、ゲームをしました。例えば、災害時の「警戒レベル」という言葉は、外国の方には難しいです。どのように言い換えたなら外国の方にも伝わりやすいのか話し合いながら進めました。



### ●多文化YouTuberの発表

今回は、特別ゲストとして多文化YouTuberの3名をお呼びしました。多文化YouTuberとは、外国人目線で、県内における多文化交流や外国の文化・慣習などを情報発信する留学生のことです。これまで作成した動画を上映し、活動について話しました。なお、多文化YouTuberの動画は近日中に、YouTube上で公開予定です。（下記QRコードからYouTubeチャンネルにアクセス）



### ●身近なテーマでおしゃべり

「これって変だよ！日本のルール」「暮らしの中の宗教」など身近なテーマで話します。新しい視点が得られる楽しい学びの時間となりました。

参加者同士でつながり、また会う約束をするなど、交流の輪が広がりました。ぜひみなさんも、地域にある交流の場に参加してみてください！



佐賀県多文化共生さが推進課  
公式YouTubeチャンネルです。  
登録よろしくお願いします！

SPIRA

会 員  
募 集

# Free Your Heart of Borders.

## 多文化共生の佐賀県をめざして ～賛助会員ご加入のお願い～

現在、佐賀県には1万人を超える多くの外国人が住んでいます。

皆さん一生懸命働き、学び、生活しています。

SPIRAでは「Free Your heart of borders! 心の国境をなくそう!」をスローガンに、ウクライナ支援や国際理解講座、日本語サポート、災害時の多言語支援、医療通訳、外国人相談窓口などに力を入れています。私たちSPIRAの応援団、SPIRAの賛助会員に加わっていただけないでしょうか。

「こころの国境のない」佐賀県とともに、作り上げましょう!

### 個人

年額 3,000円 (都度・継続)

月額 500円～

### 団体

年額 10,000円 (都度・継続)

## 2024年度 賛助会員 (団体) 様のご紹介 (順不同・敬称略)

|                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 株式会社 ビーボーン             | 佐賀女子短期大学            |
| NPO法人 ヒーリングファミリー財団     | 学校法人 弘堂国際学園         |
| 国際協会・障がい者支援センター 愛のかけはし | 佐賀県地域婦人連絡協議会        |
| (一社)伊万里市観光協会           | 株式会社SOUND AND PRIDE |
| 佐賀経友会事業協同組合            | 株式会社 音成印刷           |
| 佐賀地区日中友好協会             | 公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団 |
| 株式会社 佐賀新聞社             | 佐賀県商工会連合会           |
| 株式会社 テクノ九州             | 中原胃腸科内科             |
| モードサプライ協同組合            | 佐賀ユネスコ協会            |
| 日本語ネットワーク佐賀            |                     |

皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

どうぞ引き続きあたたかいご支援をくださいますようお願いいたします。

賛助会員の詳細については、QRコードからお進みください。

